



## 市長対談

多々見良三  
舞鶴市長

CMカメラマン  
瀬野敏

# 積極的に動き ポジティブに考え 必ず先に行く…と心に決めて

今回は、東京でCMカメラマンとして活躍されている、瀬野敏さんに対談をお願いしました。普段あまり知ることができないCM業界のことや、カメラに興味をもったきっかけなどを伺いました。

### 野球少年だった小学校時代

**市長** 東京の広告業界に舞鶴出身者が何人かいらつしやると伺って、びっくりしました。この企画では、子ども達に地元をゆかりのある著名な方の生き方を紹介して、将来の選択肢

の参考にしてほしいと思っています。  
**瀬野さん** (以下敬称略) 子ども達が地元に残った方が本当はいいんですよね。ただこういう仕事は地元ではできないですから。  
**市長** 舞鶴を含めて京都府北部でやりたい仕事があれば地元に残ってほしいです。ないのであれば外に行かなければいけない。でも人口が10倍になればライバルも10倍になるので安易に行くのではなく、「覚悟としっかりした目的」を持たないといけない、と子ども達に

は常々言っています。瀬野さんはもともと、こういう業界に興味を持たれていたのでしょ

ど、何も言われませんでした。好きなことをやれと。  
**市長** 理解があつたんですね。大学でデザインを勉強して、その頃から今の職業を考えておられたんでしょうか。

**瀬野** いいえ。大学に入ってからです。小学校の頃は野球が好きだったのでプロ野球選手になりました。か

**瀬野** そうですね。性格的に毎日同じことをするのは耐えられないと思つたので、普通のサラリーマンは無理だと思つていました。企業のポスターのなかにいい写真が出始めて、有名なカメラマンの撮られた写真がすごく良くて…こういう写真を撮りながら企業の宣伝ができるのは楽しそうだなと思つてコマースを作るプロダクションに務めました。クライアントから広告代理店が仕事をもらつてプロダクションに発注が来るんです。実際の仕事はプロダクションが全部やりま

**市長** 最初の夢は今の職業と全く違うんですね。どこで方向転換されたんでしょうか。

**瀬野** そうですね。性的に毎日同じことをするのは耐えられないと思つたので、普通のサラリーマンは無理だと思つていました。企業のポスターのなかにいい写真が出始めて、有名なカメラマンの撮られた写真がすごく良くて…こういう写真を撮りながら企業の宣伝ができるのは楽しそうだなと思つてコマースを作るプロダクションに務めました。クライアントから広告代理店が仕事をもらつてプロダクションに発注が来るんです。実際の仕事はプロダクションが全部やりま

**市長** 何かきっかけがあつたんですか。

**市長** 撮影にはどのぐらいの人が携わるんですか。

**瀬野** 40〜50人はいますね。CM15秒のために

**市長** カメラマンとして認められるまでの期間もあつたと思いますが、どうやって今の立場を築かれたのか教えてください。

**市長** 例えは、英語の先生は英語を教えるだけ

**市長** 40〜50人はいますね。CM15秒のために

**市長** 両親は写真やデザインといった厳しい世界に進むことに対して何も言われなかつたんですか。



▲フライパンさばきがお見事。デルモンテリコピンリッチ CM オムライス編



▲「ひどいトイレだ…」と悲しげなリトルベンが可愛いTOTO ネオレストのCM



▲アーモンドとチョコレートの最近注目のコンビ。明治アーモンドチョコレートのCM

瀬野敏 氏  
プロフィール

昭和26年生まれ。中舞鶴小学校、和田中学校、東舞鶴高校を卒業し東京の大学で写真を学ぶ。株式会社東北新社に入社し、CMカメラマンとして活躍（現在はSENOVISIONを設立しフリーのCMカメラマン）。

「日清カップヌードル “hungry?”」では、カンヌ国際CMフェスティバルグランプリ受賞。最近では「TOTOの菌の親子シリーズ」などを撮影。